

平成16年6月18日

会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成16年6月18日
開会 12時20分 閉会 12時35分
- 2 場 所 幕別町役場5階会議室
- 3 出席委員 7名
委員長 千葉 幹雄 副委員長 前川 敏春
委員 中橋 友子 小田 良一 前川 雅志 杉山 晴夫 坂本 偉
議長 本保 征喜
- 4 事務局
局長 高橋平明 課長 平田正一 係長 澤部紀博
- 5 審査事件
陳情第2号 国鉄分割・民営化にともなうJR不採用問題について政府の責任において
解決することを求める意見書採択に関する陳情
- 6 審査結果
陳情第2号 「不採択」
- 7 審査内容
(下記のとおり)

◇審査内容

(12:20開会)

○委員長(千葉 幹雄) 只今より産業建設常任委員会を開催いたします。本日の案件は14日の本委員会にて継続審査となりました陳情第2号 国鉄分割・民営化にともなうJR不採用問題について政府の責任において解決することを求める意見書採択に関する陳情の審査であります。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

○委員長(千葉 幹雄) 質疑がないようですので、討論に入ります。

最初に本陳情に反対の方の発言をどうぞ。

○前川委員 反対の立場で申し上げます。17年間にわたる労働争議となっていたJR不採用問題をめぐり、JR6社が中労委の救済命令の取り消しを求めた4件の訴訟の上告審判決で、昨年12月22日、最高裁はJRは労働組合法の使用者として不当労働行為の責任を負わないとして、請求を認めた一、二審判決を不服とする中労委の上告を棄却し、組合側の敗訴が確定した。判決は多数意見による結論で裁判官五人の内3:2であったとはいえ、判決結果に従うことが法治国の根幹であると考えます。解雇された多くの組合員が大変なご苦労をされたことについて同情の念をきんじえないところであり、また一定の理解をしておりますが、判決が出たいじょう民主主義からもこの結果を重んじることが肝要であると考えます。以上、反対の立場での討論と致します。

○委員長(千葉 幹雄) 次に、賛成の方の発言をどうぞ。

○杉山委員 本陳情に賛成の立場で申し上げます。本件陳情については平成9年・11年の2度にわたり採択の経緯があります。最高裁の判決が出たとはいえ、五裁判官の内3:2の小差での多数決によるもので、2人の裁判官はJR側に使用者責任があるとの反対意見を述べ、不当労働行為の有無の審理を尽くすため東京高裁に差し戻すべきだとの判断に立っている。また当時の中曽根総理は1人も路頭に迷わすことはしないと宣言。たとえJRに法的責任が無くとも、組合活動等を認めてきた経緯、多くの組合員が解雇された、地労委・中労委が認定している不当労働行為が行われた事実などから判断しても、国・政府は解決への新たな枠組みをつくる必要がある。解雇された多くの組合員とその家族の辛苦、さらには労働者としての権利はもとより人権問題として一刻も早い解決を国が責任を持ってなすべきであると、新聞の論評の多くが論説している。以上の経緯から、国の責任において早期解決を求めるとする本陳情に賛成するものであります。

○委員長(千葉 幹雄) 次に反対の方の発言を許します。ありませんか。

(「なし」の声)

無いようですので。賛成の方のありましたらどうぞ。

○中橋委員 賛成の立場で発言いたします。1994年、1999年12月JR採用差別事件の解決交渉の指導を求める陳情が提出・本町議会で採択されています。1人も路頭に迷わせないということで当時の内閣総理大臣も明言、またILOは過去5回にわたり日本政府に対し勧告を行い、採用における差別待遇は極めて重要な問題として公正な解決・早急な解決を求めている。組合員の名誉回復、希望者の採用、バックペイの支払い、年金の継続など可能な限り最大多数の労働者に受け入れられる公正な解決を政府が責任を持って行うべきであり、陳情採択に賛成するものであります。

○委員長（千葉 幹雄） 他に討論ありませんか。 （「なし」の声）
それでは採決を行います。本陳情に賛成の方の挙手を願います。 （「挙手」2人）
確認のため、本陳情に反対の方の挙手を願います。 （「挙手」4人）
採決の結果、反対が多数でありますので、陳情第2号 国鉄分割・民営化にともなうJR不採用問題について政府の責任において解決することを求める意見書採択に関する陳情は、不採択と決しました。
先日採択の陳情第3号 国の緊急地域雇用創出特別交付金制度の延長・改善を求める意見書採択に関する陳情の意見書案につきまして配布のとおりで提出することで宜しいですか。

（「はい」の声）

○委員長（千葉 幹雄） それでは、配布のとおり意見書案として提出いたします。
つぎにその他であります。閉会中の所管事務調査についておはかり致します。お手元に所管事項の資料が行っていると思いますが、如何いたしますか。調査希望事項があればどうぞ。

（「ク、下水道に関する事項、ケ、水道に関する事項」を希望の声）

○委員長（千葉 幹雄） 所管事務調査は、クの下水道に関する事項と、ケの水道に関する事項といたします。日程につきましては正副委員長に一任とさせていただきます。
他に何かございますか。

（「なし」の声）

以上で、産業建設常任委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

（12：35閉会）